



インフルエンザに引き続き注意をしましょう



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	1,003	1,165	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	11	13	ヘルパンギーナ	5	9
咽頭結膜熱	24	19	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	30	31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	102	101	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	310	319	流行性角結膜炎(はやり目)	11	9
水痘	26	26	細菌性髄膜炎	0	1
手足口病	8	13	無菌性髄膜炎	0	0
伝染性紅斑(りんご病)	3	4	マイコプラズマ肺炎	3	2
突発性発疹	22	34	クラミジア肺炎	0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	3

報告が多い感染症
 ● インフルエンザ
 ● 感染性胃腸炎
 ● A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域
 インフルエンザ : 有明、天草、八代、人吉、宇城
 感染性胃腸炎 : 菊池
 咽頭結膜熱 : 菊池

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
1 熊本市保健所	215	2	8	28	52	16	4	1	4	0	0	2	0	11	0	0	3	0	2
2 山鹿保健所	19	0	1	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 菊池保健所	68	2	7	21	73	0	2	1	3	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0
4 阿蘇保健所	9	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
5 御船保健所	29	0	0	3	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 八代保健所	131	0	4	4	31	1	0	0	3	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0
7 水俣保健所	26	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 人吉保健所	87	2	0	10	26	4	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
9 有明保健所	180	1	2	6	32	2	1	1	3	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0
10 宇城保健所	93	4	1	24	23	1	0	0	4	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0
11 天草保健所	146	0	1	5	25	2	1	0	4	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0
計	1003	11	24	102	310	26	8	3	22	0	5	30	0	11	0	0	3	0	2

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点年齢区分	合計	0-5カ月	6-11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	
インフルエンザ	1003	6	7	49	49	58	66	54	73	43	63	39	164	35	31	46	66	57	44	28	25	
小児科定点年齢区分	合計	0-5カ月	6-11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上							
RSウイルス感染症	11	4	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
咽頭結膜熱	24	2	2	7	5	4	0	1	1	1	0	0	1	0	0							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	102	0	0	4	7	9	14	18	9	8	7	10	13	0	3							
感染性胃腸炎	310	1	16	48	32	23	27	24	25	13	17	24	30	6	24							
水痘	26	0	0	2	3	2	4	4	8	1	0	1	1	0	0							
手足口病	8	0	0	4	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0							
伝染性紅斑	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0							
突発性発疹	22	1	6	14	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0							
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
ヘルパンギーナ	5	0	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0							
流行性耳下腺炎	30	0	0	1	5	4	7	6	4	1	1	1	0	0	0							
眼科定点年齢区分	合計	0-5カ月	6-11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	11	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	1	1	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
マイコプラズマ肺炎	3	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						

インフルエンザに引き続き注意をしましょう

3月13日～3月19日の県内のインフルエンザ報告数は、1,003件であり、7週連続で減少しています。しかし、保健所別では、有明、天草、八代、人吉、宇城、が依然として警報レベルです。また、インフルエンザB型が報告数のおよそ半数となりました。これは、例年通りインフルエンザのピーク後に見られる傾向ですが、まれにインフルエンザA型に感染した方もB型に感染する場合がありますので、引き続き注意が必要です。A型、B型ともに、潜伏期間(1～3日)や基本的な症状(通常38℃以上の高熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛など)は、ほとんど同じと言われており、インフルエンザ治療薬もA型、B型ともに有効となっています。予防法も、A型、B型共通ですので、これまで通りしっかりと手洗いや咳エチケットを行いましょう。

インフルエンザの予防方法

- ①時間をかけた丁寧な手洗い…20秒以上時間をかけた丁寧な手洗いを心がけましょう
 - ②咳エチケット…咳やくしゃみは他の人に向けてないようにしましょう。また、咳やくしゃみがでる時は、できるだけマスクをつけましょう。特に、手のひらで受け止めたときは、すぐに手を洗いましょう。
- ※熊本県サイト「今冬のインフルエンザ総合対策に取り組みましょう」http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_17785.html

